

認定 **BP** 大学院発 文部科学省「職業実践力育成プログラム」

厚生労働大臣指定 専門実践教育訓練給付金対象講座

関西学院大学ビジネススクール(MBA)に連動したカリキュラム

## 第10期 診療所を中心とした 地域医療経営人材育成プログラム

2025年  
6月開講

地域医療を目指した  
次世代医療・介護経営人材を育成する

### 地域医療の実践的課題解決へ ～支え合うあなたの街の地域の輪～



関西学院大学  
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

# 地域医療を目指した次世代医療・介護経営人材を育成します。

少子多死社会が待ち受けているなか、行政が提唱する地域包括ケアシステムを実現するためには、QOLやその先のQOD向上を目指す地域医療は避けて通れない大きなテーマであります。地域医療の充実を図るためにには、病院、診療所、薬局、介護施設等の連携が欠かせません。とりわけ、日頃から地域住民に一番近い身近な医療機関である診療所の経営革新ならびにサービス業としてCSの視点を取り入れたサービス品質向上が重要となります。

本プログラムは、医療従事者としての専門技能や技術に関わる内容ではなく、“医療サービス経営”という視点から、地域社会との関わり方に主眼を置いた次世代の医療・介護経営人材を育成することを目的としています。「経済産業省産学連携サービス経営人材育成事業」のもとで2016年に第1期を開講しました。現在は、関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科のビジネススクールが提供する履修証明プログラムの1つとして、2025年6月から第10期を開講します。

## 開講にあたって



地域包括ケアシステムは、広く実践の時期を迎え地域医療を大きく変えています。地域医療を担う多くの医療機関、医療サービス機関は連携しながら地域の患者さんにサービスを提供していく仕組みを作り上げてきました。長年親しまれてきた診療所もこのシステムの中で重要な役割を果たしてきています。経済産業省の産学連携サービス経営人材育成プログラムを契機として2015年度より事業が開始された「診療所を中心とした地域医療経営人材育成プログラム」は、2025年度も新しい受講者を募集します。新型コロナウイルスの扱いが5類に移行し、講義はオンラインと対面の併用で行われます。対面の講義は関西学院大学の大坂梅田キャンパスで実施します。受講の内容もより実践的で分かりやすいものになっています。皆さんの参加をお待ちしております。

関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 教授 山本 昭二

## 受講のお勧め



地域医療の充実には、急性期から看取りまで医療を一連の時間軸で捉える必要があります。そのために欠かせないのが多職種連携(チーム医療)で、医療者だけでなく事務方や行政も含む医療に関わる全ての人が参画します。兵庫医科大学では臨床教育統括センターで多職種連携を通じて医療安全、ノンテクニカルスキル、グループダイナミクスまで学んでいます。多職種連携は医療の水準を高め患者さんの信頼性を向上させるだけでなく、業務を効率化し働く意欲を高めます。兵庫医科大学のこれらの優れた教育能力を本プログラムに活かしていきたいと思っています。皆さんの受講をお待ちしています。

兵庫医科大学 学長 鈴木 敬一郎

## 地域医療経営人材育成プログラム実行委員会

本プログラムは、関西学院大学ビジネススクールが提供する経営マネジメント理論および「産学連携」のプログラム実行委員会のもとで、医療・介護現場で地域医療の実践に役立つカリキュラムを開発し、提供いたします。

【プログラム実行委員会】 <https://iba.kwansei.ac.jp/service-jinzai/consortium/committee>



プログラム実行委員会↑

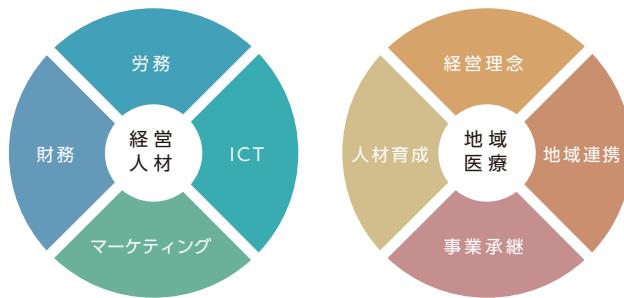
## プログラム構成

医療サービス業としての経営者の視点と地域医療実現に必要なCSR(企業の社会的責任)の視点から、本プログラムは、基礎科目と発展科目、先端科目の3つの科目群からなり、全14科目で構成しています。

科目名		授業時間数
基礎科目	マーケティング1,2	各 12時間
	経営戦略1,2	
	会計・財務諸表	
	人的資源とキャリア開発	
発展科目	地域包括ケアと医療経営 ※	各 23時間20分
	ソーシャル・マネジメント ※	
	医療経済学	
	サービス・マーケティング	
	サービス・マネジメント	
	組織管理	
	管理会計	
	情報システム	
	医療機関事業承継 ※	
先端科目	医療機関事例研究 ※	

注1 ※は選択必修科目です。詳しくは「受講にあたって」をご参照ください。

注2 発展科目的履修は、1科目2単位の修得となります。



基礎科目は、原則として3時間(1講時90分の授業を2講時連続)の授業を4回実施します。(各12時間)

発展科目・先端科目は、原則として3時間20分(1講時100分の授業を2講時連続)の授業を7回実施します。(各23時間20分)

### 【基礎科目】

経営管理の視点に立ちながら日々の業務を行う上で最低限必要なベーシックな内容を習得できるように構成しています。本学経営戦略講座の受講者や他の履修証明プログラムの受講者等と一緒に受講いただきます。

### 【発展科目】

本学経営戦略研究科のビジネススクールの正規科目であり、正規の学生と一緒に受講していただきます。

### 【先端科目】

「診療所に特化した事例研究」をとりあげ、より実践性の高い授業を実施します。受講者は地域医療経営人材育成プログラムの受講者のみです。

## 各科目の紹介と授業内容

全14科目の授業概要およびシラバス(授業内容)についてはホームページの「受講科目紹介」をご覧ください。

<https://iba.kwansei.ac.jp/service-jinzai/requirements/subject>



受講科目紹介 ↑

## 講師陣と担当科目

〈順不同・敬称略〉

各科目の講師は、医療関連法人で実務経験のある方や、医療・介護関連業界に精通した教員や実務家が務めます。

講師陣	担当科目
山本 昭二	マーケティング1,2、サービス・マーケティング
吉村 典久	経営戦略1,2
平木 秀輔	医療経済学
丸橋 弘明	情報システム
三宅 由佳	会計・財務諸表
森藤 ちひろ	ソーシャル・マネジメント
車田 紘里子	人的資源とキャリア開発
若林 直樹	組織管理
石井 富美	地域包括ケアと医療経営
酒井 大策	管理会計
嶋田 敏	サービス・マネジメント
中川 義敬	医療機関事業承継
増田 裕介	医療機関事業承継
石川 敦士	医療機関事業承継
松村 真吾	医療機関事例研究

※所属・役職は、2025年1月末現在。講師は変更になる場合があります。最新の講師陣は、ホームページにてご確認ください。

## プログラムの特長と受講のメリット

### 1. 地域医療経営を学べる実践的経営マネジメントに関する授業

地域医療の実践に必要な医療サービス経営という視点でプログラムを構成しています。座学だけでなく、プログラムの随所にリアルケーススタディを採用し、実用性の高いカリキュラムを提供しています。

### 2. 経営の基礎から地域医療マネジメントまで全14科目で構成（選択受講）

プログラムは、「基礎科目」「発展科目」「先端科目」の3つのカテゴリに大別され、全14科目で構成されています。受講者はその中から自分の興味に合わせて受講コース・科目を選択できます。多様化する受講者ニーズに応えるため、条件付きで1科目からの受講も可能です。

### 3. 厚生労働省 専門実践教育訓練給付制度を活用した受講が可能

本プログラムは専門実践教育訓練給付金の対象講座に指定されています。履修証明書取得コースを選択し、所定の条件を満たすことで、受講料が大幅に減額されます。

### 4. オンライン授業とハイフレックス型授業は、Zoom授業動画を提供

プログラムの授業形態は、オンライン授業またはハイフレックス型授業（対面とZoomによるオンラインの同時進行）が中心です。在宅での受講も可能で、柔軟に学ぶことができます。また、オンライン授業とハイフレックス型の授業は、授業終了後に科目受講者全員に録画を提供します。欠席された場合でも授業の内容を確認することができます。

### 5. ビジネススクールと連動したカリキュラム

プログラム修了後にMBA取得を目指して本学ビジネススクールへ進学する場合、本プログラムの発展科目で受講・修得した科目は、入学後にMBA取得に必要な単位として算入されます。（1科目につき2単位）

## 受講にあたって

本プログラムでは、「履修証明書取得コース」と「非履修証明書取得コース」の2つのコースをご用意しています。なお、専門実践教育訓練給付制度の対象は履修証明書取得コースのみとなります。

### ■履修証明書取得コース（地域医療経営マネジメントを体系的に学びたい方 向け）

地域医療経営マネジメントを体系的に学びたい方には、履修証明書取得コースの受講をお勧めします。本プログラムは文部科学省の「職業実践力育成プログラム」に認定されており、所定の要件を満たすと履修証明書が発行されます。

履修証明書を取得することで、履歴書や経歴書に「関西学院大学 地域医療経営人材育成プログラム 履修証明プログラム修了」と記載することができます。専門的な知識とスキルを証明し、キャリアアップに役立てることができます。

#### 【履修証明書発行の履修条件】

履修証明書の発行には、次の(1)(2)の両方の条件を満たす必要があります。

- (1) 本プログラム所定の課程の総授業時間数が129時間以上であること
- (2) 基礎科目と発展科目・先端科目を下記の通りバランスよく履修すること

- ・ 基礎科目:4科目のなかから2科目以上を履修
- ・ 発展科目・先端科目:合計10科目のなかから5科目以上を履修し、かつ選択必修科目である「地域包括ケアと医療経営」「ソーシャル・マネジメント」「医療機関事業承継」「医療機関事例研究」のうち1科目以上を履修  
ただし、発展科目の受講は各学期（春学期開講・秋学期開講）につき3科目までです。



### 厚生労働省教育訓練給付制度を活用した受講について

一定の条件を満たす在職者又は離職者が自ら費用を負担して厚生労働大臣の指定を受けている講座を受講し修了した場合、本人が教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定割合がハローワークから本人に支給されます（厚生労働省ウェブサイトより）。受講修了後、教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定割合額（最大80%相当・諸条件あり）がハローワークより支給されます。本制度について詳しくは厚生労働省のウェブサイトをご参照ください。

本制度を活用するには、2026年7月末時点で履修証明書取得コースの修了要件を満たしている必要があります。

### ■非履修証明書取得コース（必要な知識を学びたいと考える方 向け）

経営マネジメント関連の授業を受けたことがない方や、人事異動などにより早急に業務対応力を高めたい方など、仕事上や個人のキャリアアップを目指す方に最適なコースです。受講科目を絞って学ぶことが可能で、選択必修科目である「地域包括ケアと医療経営」「ソーシャル・マネジメント」「医療機関事業承継」「医療機関事例研究」のうち1科目以上を履修することが条件となります。

プログラム入学後、修得した科目を増やし、履修証明書発行に必要な単位に達すると、履修証明書が発行されます。

第9期までに172名が本プログラムに入学しています。受講者は、診療所に勤務される方をはじめ、各種医療機関の院長・医師、看護師、薬剤師、その他医療関連業だけに留まらず、土業、行政機関、教育機関と多岐にわたっています。本プログラムは、異業種・多職種の受講者による活発なディスカッションを通じて、多職種連携を考えることにも役立っています。



公益財団法人 聖バルナバ病院  
理事長 小澤 淑郎(70歳代・男性)

現在、病院経営者としての立場から病院経営を改革して行くためには地域連携の実践・充実が非常に重要であり、しいてはこれが地域医療社会を実現して行くための重要な課題であると考えています。昨今の少子化という厳しい環境下、産婦人科・小児科に特化した当院としては、医療行為をサービス業として捉え、集患力と患者満足度を一層高めるべく鋭意努力中であるが、「医療サービス経営」という視点から経営者として習得すべき理論的・形式的化した新たな理論教育を教室で学び、現場で実践するために今回の「診療所を中心とした地域医療経営人材育成プログラム」は非常に有意義であった。



総合病院  
消化器内科 医長(40歳代・男性)

現在私は市中病院で専門医として診療に従事していますが、将来、父が開院した診療所を継承する予定です。準備を進めておきたい気持ちはあってもどこから手をつけて良いか分からず戸惑っていました。このコースには医療介護業界の様々な職種の方が参加されており、豊富な実務経験をお持ちでした。皆さんとの共同作業を通じて、様々な視点から地域医療を考える機会を得ることができました。また、ZOOMを活用した授業は、平日の仕事と両立できるか不安だった私にとって大きな助けになりました。カリキュラムでは財務会計や医療政策、診療所承継に関する実践的な内容が網羅されており、私が必要としていた知識を学ぶことができました。診療所運営や地域医療への貢献に向けて、考えの軸になる知識を得ることができたと思っています。



社会医療法人さくら会 さくら会病院  
看護部・看護師長 井上 有紀(50歳代・女性)

急性期病院で30年勤務したのちに転職し、2年前から地域包括ケア病棟で勤務しています。地域に根ざした医療の提供を目指す病院として、地域包括ケアシステムの中で求められていることは何か、看護管理者としての役割を考えていた時にこのプログラムを受講したいと思いました。私は看護専門学校卒業でしたので、まず出願資格を得る準備からはじめ専門職大学院経営戦略修研科に入校を許可していただきました。すでに「地域包括ケアと医療経営」「経営戦略」「人的資源とキャリア開発」を受講しましたが、講義内容は興味深く、様々な業種の方々の意見を聞く機会やディスカッションは刺激をいただきながら楽しく学ぶことができています。今後は、社会のコミュニティにも目を向けて活動の幅を広げていきたいと考えるようになりました。



医療機器メーカー  
営業職 シニアマネージャー(50歳代・男性)

私は大型医療機器メーカーで営業職を務めていますが、多忙な業務の中でリスクリソースの機会を得るのは難しい状況でした。しかし、50歳以降の働き方を見据え、新しいスキルの習得と新たなコミュニティへの参加が重要だと考え、思い切って受講を決めました。

このプログラムの特徴は、医療に関する幅広い分野の講義に加え、実際に直結するマーケティング分野等の講義を学ぶ点にあります。これらを通じて得た幅広い知識を、今後のキャリアアップに活用したいと考えています。そして何よりも大きな収穫は、様々な年代や職業の優秀な同期やIBAの学生との出会いです。グループワークやディスカッションでは、異なる視点で活発に意見を交わす機会が多くあり、この交流こそがこのプログラムの最大の魅力だと感じています。



総合病院  
地域医療連携室(40歳代・女性)

私は奈良県で医療ソーシャルワーカーとして回復期の病床に勤務しています。地域包括ケアの重要性が叫ばれるようになって久しいですが、地域には多くの課題が存在し、患者やそのご家族が悩んでいることを実感しています。そのような中、社会福祉的な観点からだけでなく、様々な角度から現場を、そして、地域を見通す力が必要だと思い、本プログラムを受講しました。医療関係者はもちろんのこと、科目によって異業種の方とも一緒にさせていただき、多角的な視点を得ることができます。学びを現場に持ち帰り、同僚等に情報を共有しながら、改善に取り組む日々です。まだ学びの途中ですが、より一層、地域の医療に貢献出来るよう、引き続き努力していきたいと思っています。



株式会社カケハシ Client Acceleration・マーケティング  
高比良 篤(40歳代・男性)

医療業界に身を置いて、20年が過ぎました。色々なお仕事とお客様を通じて、様々な学ばせて頂く日々でしたが、どこかで頭打ち・限界を感じることがありました。そこで、リスクリソースの意味も含めて一念発起し、このプログラムに参加を決意しました。もともと読書は好きで、経営学や医学など広く読む習慣はありましたが、やはりこのようなプログラムでの学びはまったく違うものと言えます。その分野のプロフェッショナルの講師の解説、自由に質問させて頂き、その回答を頂くことで理解は格段に深くなり、また参加者も多様で、その方々の視点を踏まえたディスカッションの機会から、知らなかつたことや気づけなかったことを通じて、自身の視野が広がることを毎回実感しています。今の仕事に活用できる視点や考え方だけでなく、そもそも直結して役立つ知見もあり、大変有意義な時間となっています。

※受講環境は、受講当時の状況によるものです。

## 【第9期受講者および過去の受講者の所属先】

### 【第9期受講者の所属先】

- 一般社団法人ラブテリ
- 京都第一赤十字病院
- 医療法人 友誠会 西大和リハビリテーション病院
- 医療法人 おもと会 大浜第一病院
- 社会医療法人 バルツア事業会  
重症心身障害児学園・病院バルツア・ゴーデル
- 林医院
- 医療法人 真正会 霞ヶ関南病院
- 株式会社カケハシ
- 医療法人社団 朔未会 桜新町クリニック
- 社会医療法人 健康会 新京都南病院
- つながりクリニック
- 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター
- 大阪公立大学 医学部附属病院
- 社会医療法人 さくら会 さくら会病院
- 三菱UFJウェルスアドバイザーズ株式会社
- にしがき眼科クリニック
- 社会医療法人 杏嶺会 一宮西病院
- 株式会社フリップス・ジャパン

### 【過去の受講者の所属先】

- 株式会社EMシステムズ
- いそのかみ皮膚科
- 医療法人 井庭医院
- 公益社団法人大阪精神科診療所協会
- 社会医療法人 寿栄会 ありまこうげんホスピタル
- 医療法人 信愛整形外科医院
- 医療法人 太洋会 すぎら歯科クリニック
- 医療法人 中城クリニック
- 日本経営ウイル税理士法人
- 舞鶴赤十字病院
- 株式会社ハッピーサービスグループ
- 医療法人 平成博愛会 てとと大岡山
- ももの木訪問看護リハビリステーション  
ライフケイズ株式会社
- 社会医療法人 愛仁会本部 および各医療施設
- 社会福祉法人 愛和会
- 医療法人 育和会 育和会記念病院
- 医療法人 いづみ会 太田外科診療所
- 医療法人 梅華会グループ  
エピスタうめはなこどもクリニック

- 公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリズ記念病院
- 社会医療法人大道会
- 医療法人社団 岡本医院
- 医療法人弘仁会 まちだ胃腸病院
- 宗教法人在日本南プレスピテリアンミッション  
淀川キリスト教病院
- 佐々木内科クリニック
- 医療法人財団 樹徳会 上ヶ原病院
- 湘南美容クリニック(SBCメディカルグループ)
- 医療法人 穂翔会 村田病院
- 社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院
- 公益財団法人 聖バルナバ病院
- 公益財団法人 田附興風会  
医学研究所 北野病院
- 社会福祉法人 東大寺福祉事業団  
東大寺福祉療育病院
- 医療法人 徳洲会 岸和田徳洲会病院
- 公益財団法人 日本生命済生会 日本生命病院
- 株式会社メディセオ
- 医療法人 悠仁会 稲田クリニック
- 医療法人 脇本産婦人科・麻酔科

## 開講日程

科 目	開講日時 (2025年6月～2026年3月)					補 講
基礎科目	マーケティング1	木曜	18:30～21:30	6/12、6/19、6/26、7/3		
	経営戦略1	日曜	9:30～12:30 13:30～16:30	7/6、7/13		
	会計・財務諸表	土曜	13:00～16:00	7/19、7/26、8/2、8/9		
	マーケティング2	木曜	18:30～21:30	10/16、10/23、10/30、11/6		
	経営戦略2	日曜	9:30～12:30 13:30～16:30	11/2、11/9		
	人的資源とキャリア開発	土曜	9:30～12:30	11/22、11/29、12/6、12/13		
発展科目	地域包括ケアと医療経営	日曜	16:35～19:55	10/5、10/12、10/19、10/26、11/2、11/9、11/16	11/23	
	サービス・マーケティング	火曜	18:30～21:50	10/7、10/14、10/21、10/28、11/4、11/11、11/18	11/25	
	組織管理	金曜	18:30～21:50	10/10、10/17、10/24、10/31、11/7、11/14、11/21	11/28	
	医療経済学	火曜	18:30～21:50	12/2、12/9、12/16、12/23、1/13、1/20、1/27	2/3	
	サービス・マネジメント	水曜	18:30～21:50	12/3、12/10、12/17、1/7、1/14、1/21、1/28	2/4	
	情報システム			2026年度 開講予定		
	ソーシャル・マネジメント					
	管理会計					
先端科目	医療機関事業承継	日曜	13:00～16:20	7/20、7/27、8/3、8/10、8/24、8/31※、9/7※	9/21	
	医療機関事例研究	日曜	13:00～16:20	2026年 2/7※、2/15、2/22、3/1、3/8、3/15、3/22	3月中オンライン	

・上記の開講日時が変更となる場合があります。最新情報はホームページにてご確認ください。

・補講は、予定の日程で開催できなかった回が発生した場合の開講日(予備日)です。

・「マーケティング」「経営戦略」は1と2で同じ内容を年2回開講します。いずれか一方を受講してください。

※「医療機関事業承継」の8月31日の授業は、授業時間帯が13:00～17:20、9月7日の授業は、授業時間帯が13:00～15:20になります。

※「医療機関事例研究」の2月7日の授業は、土曜開催、授業時間帯は13:20～16:40になります。

## 出願について

【開講期間】2025年6月～2026年8月 修了(15か月) 最大18か月 2026年11月修了

【受講者定員】15名程度

【受講方法】出願後、面接選考を経て受講者を決定します。詳しくはホームページの募集要項をご覧ください。

【出願資格】・学士の学位を有する者もしくは同等の学力を有する者で実務経験が3年以上の方

・専修・専門学校、短期大学卒業者で実務経験が5年以上の方

・高等学校卒業者で実務経験が7年以上の方

上記のいずれかに該当する方。但し、実務経験については業界・業種・職種を問いません。

【出願方法】オンラインで行います。

【受講料】履修証明書取得コース 444,000円～(専門実践教育訓練給付制度により受講料の一定割合額支給あり)

非履修証明書取得コース 80,000円～

## 開講場所(対面授業の場合)

関西学院大学 大阪梅田キャンパス

〒530-0013 大阪市北区茶屋町19-19 アプローズタワー10階・14階

大阪梅田キャンパス事務室(14階) TEL:06-6485-5611 FAX:06-6485-5612

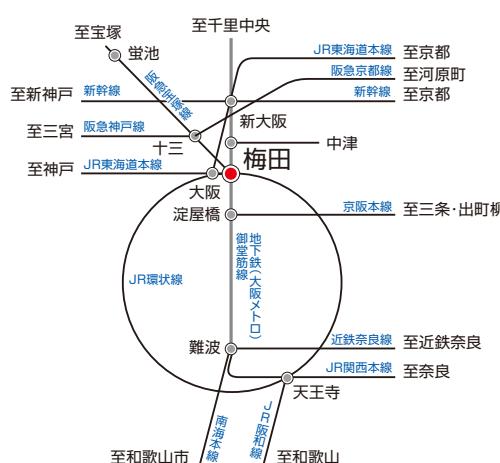
- 阪急「大阪梅田駅」茶屋町口改札口より北へ徒歩5分
- JR「大阪駅」御堂筋出口から徒歩10分
- 大阪メトロ御堂筋線「梅田駅」から徒歩7分、「中津駅」から徒歩4分

### 【最寄り施設】

ホテル阪急インターナショナル

梅田芸術劇場

(いずれもアプローズタワー内施設)



お問い合わせ先

関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 地域医療経営人材育成プログラム事務局

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155 TEL:0798-54-6342

E-mail: servicejinzai@kwansei.ac.jp URL: https://iba.kwansei.ac.jp/service-jinzai/



プログラムHP↑ お問い合わせ↑